

ごみ減量の今を見つめ、未来をつくる!!

未来をつくる!!



高島市ごみ減量キャラクター「スリムヤン」

紙ごみ分別で
ごみ袋をスリム
にしてね!

なぜ、ごみ減量が必要なの?

「ごみ減量大作戦」紙ごみ減量プロジェクトは、今年度で3年目を迎えます。ごみ減量大作戦の取り組みや紙ごみ分別は、市民の皆さんのご理解とご協力により、浸透してきていますが、紙ごみ分別にご協力いただいている方と、取り組んでいただいている方の二極化が進んでいるのも事実です。また、なぜ紙ごみ減量に取り組む必要があるのかをご存知でない方もおられます。

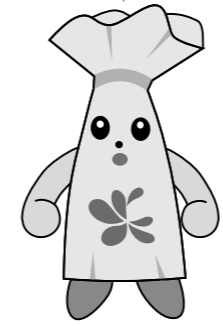
紙ごみ分別・減量の趣旨をもう一度確認していただいて、ごみ減量にご協力をお願いします。

燃やせるごみの中には約6割の紙ごみが含まれていて、リサイクル可能なごみにまで多額の処理費用が使われています。

市内から出された燃やせるごみと資源ごみは、『環境センター』で処理をしています。センターに

は、1日あたり37・5トンのごみを焼却できる焼却炉が2炉あり、それらを交互に運転するのが理想的です。しかし、1日37・5トン以上のごみが出るため、交互に運転する事ができません。

ごみ処理施設の機械類の寿命は15年から20年ほどと言われています。市の環境センターは、今年で11年目となり、市の厳しい財政状況を考えると、1年でも長く使用できるようにごみを減量し、焼却炉の負担を軽減する必要があります。



たくさんの税金が使われてごみが処理されているのに、燃やせるごみの中には、リサイクルできる紙ごみが多く含まれているんだ。今のごみの量は焼却炉にもすごく負担がかかっていて、焼却炉の寿命を縮めてしまうんだ。

こうした課題を解決するため、皆さんのご理解とご協力を頂きながら、平成23年度から3年間「紙ごみ減量」に取り組む、ごみ処理経費とCO₂排出量の削減を目指しています。

平成23年度処理費用

13億5,000万円
(施設の減価償却費含む)

整備から10年が経過した環境センターは、老朽化により、修繕費が年々増加し、点検補修にもたくさんの費用がかかっているんだ。



平成24年度1年間の実績量

ごみの全体量
約17,650t

25メートルプール
約30杯分です!

燃やせるごみ 約13,560t
粗大ごみ 約950t

燃やせないごみ 約1,440t
有害・廃食油 約50t

資源ごみ 約1,650t



一人あたり
1年平均 約340kg
1日平均 約920g



5R ~ 今僕たちにできること ~

Recycle (リサイクル)
資源回収所へもっていく。資源として再利用。

Refuse (リフーズ)
必要のないものを断る。

Reduce (リデュース)
減らす。洗剤やシャンプーの詰め替え、詰め替え容器の再利用を減らす。

Repair (リペア)
修理する。壊れたものを修理する。

Reuse (リユース)
リユース。マイボトルを使う。マイ箸を使う。洗剤やシャンプーの詰め替え容器を再利用する。

みなさんの5Rが、小さな5Rから大きな5Rになります。

できることからごみ減量

■ ごみの分別をしっかりとる

環境センターに運ばれてくる燃やせるごみの中身は、紙類が多くを占めています。紙を分別し資源として出すことで、燃やせるごみは大幅に削減できます。資源となる紙の代表的な物は、新聞紙・ダンボール・飲用紙パック・シュレッター紙・雑誌・お菓子の箱・ハガキ・封筒・包装紙等です。



■ 5Rに取り組む

5Rとは、ごみを出さない暮らしのための「Reduce」「Reuse」「Recycle」「Refuse」「Repair」の頭文字をとったものです。詳しくは、漫画をご覧ください。



■ 生ごみを減らす

生ごみは臭いが出たり、水を含んでいると、ごみ集積所に持って行くのも大変です。“水切りをしっかりとる”など少しの工夫で、ごみの量を減らすことができ、出す時の大変さも軽減できます。(一般家庭用電機式生ごみ処理機の購入費用の助成も行っています。)

